

様式4-1 業績発表、独自研究(原著論文、和文総説・著書 記入用)

項目 (英文原著論文、和文原著論文、 和文総説・著書)	論文全著者名、論題、雑誌名、発行年、巻:始頁-終頁	雑誌名 (再掲)	貴院著者名	所属 ・貴院の著者が臨床研究センター・臨床研究部に所属している場合には「臨床研究センター・部所属」を選択すること ・著者が複数名いる場合は、複数名のうち一名でも所属している場合は「臨床研究センター・部所属」を選択すること
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Nagayama I, Nagatoya K, Kurahara Y, Mega A, Morita M, Haga R, Yamanouchi Y, Yamaguchi Y, Oka T, Yamauchi A. Tuberculous Fasciitis in Polyomyositis: A Rare Case of Extrapulmonary Tuberculosis. Intern Med. 2016;55(21):3205-3209.	Internal Medicine	倉原優	
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Naitou M, Kurahara Y. Coexistence of Pulmonary Aspergilloma and Allergic Bronchopulmonary Aspergillosis. Intern Med. in press.	Internal Medicine	内藤真依子、倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. 本当にあった医学論文3. 中外医学社	著書	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. 呼吸器の薬の考え方、使い方. 改訂第2版. 中外医学社	著書	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. 気管支喘息バイブル. 日本医事新報	著書	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. COPDの教科書. 医学書院	著書	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. もっとねころんで読める呼吸のすべて. メディカ出版	著書	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. あなたも名医!成人吸入薬のすべて 世は吸入薬戦国時代! (jmed45) 日本医事新報	著書	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. ナースのための世界一わかりやすい呼吸器診断学. 金芳堂	著書	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. ポケット呼吸器診療2017. シーニュ	著書	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. 薬剤師に知って欲しい胸部画像の見かたと考え方. 月刊薬事. 2016; 58(12): 39-42.	月刊薬事	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. 医師が語る処方箋の裏側. 日経ドラッグインフォメーション. 2016;7:PE21.	日経ドラッグインフォメーション	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. 呼吸器関連: ややこしい「吸入薬」を整理する. 総合診療. 2016;26(10):822-827.	総合診療	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. 明日誰かに話したくなるDr.倉原の5分間呼吸器学第4回. 呼吸器ケア. 2016;14(4):58-59.	呼吸器ケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. 明日誰かに話したくなるDr.倉原の5分間呼吸器学第5回. 呼吸器ケア. 2016;14(5):60-61.	呼吸器ケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. 明日誰かに話したくなるDr.倉原の5分間呼吸器学第6回. 呼吸器ケア. 2016;14(6):66-67.	呼吸器ケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. 明日誰かに話したくなるDr.倉原の5分間呼吸器学第7回. 呼吸器ケア. 2016;14(7):68-69.	呼吸器ケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. 明日誰かに話したくなるDr.倉原の5分間呼吸器学第8回. 呼吸器ケア. 2016;14(8):82-83.	呼吸器ケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優. 明日誰かに話したくなるDr.倉原の5分間呼吸器学第9回. 呼吸器ケア. 2016;14(9):62-63.	呼吸器ケア	倉原優	

項目 (英文原著論文、和文原著論文、 和文総説・著書)	論文全著者名、論題、雑誌名、発行年、巻、始頁-終頁	雑誌名 (再掲)	貴院著者名	所属 ・貴院の著者が臨床研究センター・臨床研究部に所属している場合には「臨床研究センター・部所属」を選択すること ・著者が複数名いる場合は、複数名のうち一名でも所属していれば「臨床研究センター・部所属」を選択すること
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優 明日誰かに話したくなるDr.倉原の5分間呼吸器学第10回. 呼吸器ケア. 2016;14(10):54-55.	呼吸器ケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優 明日誰かに話したくなるDr.倉原の5分間呼吸器学第11回. 呼吸器ケア. 2016;14(11):60-61.	呼吸器ケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優 明日誰かに話したくなるDr.倉原の5分間呼吸器学第12回. 呼吸器ケア. 2016;14(12):82-83.	呼吸器ケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優 明日誰かに話したくなるDr.倉原の5分間呼吸器学第13回. 呼吸器ケア. 2016;15(1):60-61.	呼吸器ケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優 明日誰かに話したくなるDr.倉原の5分間呼吸器学第14回. 呼吸器ケア. 2016;15(2):54-55.	呼吸器ケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優 明日誰かに話したくなるDr.倉原の5分間呼吸器学第15回. 呼吸器ケア. 2016;15(3):66-67.	呼吸器ケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優 呼吸器教室第10回. プレホスピタルケア. 2016;29(2):61-63.	プレホスピタルケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優 呼吸器教室第11回. プレホスピタルケア. 2016;29(3):83-85.	プレホスピタルケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優 呼吸器教室第12回. プレホスピタルケア. 2016;29(4):72-73.	プレホスピタルケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優 呼吸器教室第13回. プレホスピタルケア. 2016;29(5):74-77.	プレホスピタルケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優 呼吸器教室第14回. プレホスピタルケア. 2016;29(6):71-74.	プレホスピタルケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優 明日誰かに話したくなるDr.倉原の5分間呼吸器学第16回. 呼吸器ケア. 2017;15(4):70-71.	呼吸器ケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優 呼吸器教室第15回. プレホスピタルケア. 2016;30(1):44-46.	プレホスピタルケア	倉原優	
和文総説・著書(筆頭筆者)	倉原優 呼吸器感染症よもやま話. 第1回. J-IDEO. 2017;1(1):78-79.	J-IDEO	倉原優	
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Nuñez O, Román A, Johnson SR, Inoue Y, Hirose M, Casanova A, de Garibay GR, Herranz C, Bueno-Moreno G, Boni J, Mateo F, Petit A, Climent F, Soler T, Vidal A, Sánchez-Mut JV, Esteller M, López JI, García N, Gumá A, Ortega R, Plà MJ, Campos M, Ansótegui E, Molina-Molina M, Valenzuela C, Ussetti P, Laporta R, Ancochea J, Xaubet A, Pollán M, Pujana MA (corresponding author). Study of breast cancer incidence in patients of	Breast Cancer Research and Treatment	広瀬雅樹, 井上義一	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	広瀬雅樹, 井上義一. 自己免疫性肺胞蛋白症の血清中におけるB細胞活性化因子. 分子呼吸器病. 2017, 21, 103-106	分子呼吸器病	広瀬雅樹, 井上義一	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Yoshimasa Hamano, Hiroshi Kida, Shoichi Ihara, Akihiro Murakami, Masahiro Yanagawa, Ken Ueda, Osamu Honda, Lokesh P. Tripathi, Toru Arai, Masaki Hirose, Toshimitsu Hamasaki, Yukihiro Yano, Tetsuya Kimura, Yasuhiro Kato, Hyota Takamatsu, Tomoyuki Otsuka, Toshiyuki Minami, Haruhiko Hirata, Koji Inoue, Izumi Nagatomo, Yoshito Takeda, Masahide Mori, Hiroyoshi Nishikawa, Kenji Mizuuchi, Takashi Kiiima, Masanori Kitaichi, Noriyuki Tomiyama, Yoshikazu	Scientific Reports	新井徹, 広瀬雅樹, 井上	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者)	Aya Hirooka, Akihiro Tamiya, Masaki Kanazu, Junichi Nonaka, Tajji Yonezawa, Kazuhiro Asami, Shinji Atagi. Brain Metastasis of Pleural Mesothelioma after Subarachnoid Hemorrhage. INTERNAL MEDICINE. 2016. 55:779-781.	INTERNAL MEDICINE	廣岡亜矢, 田宮朗裕, 野	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	井上義一. IPF(特発性肺線維症)ってどんな病気だろう, 日本ベーリンガーIPF冊子. 2016;1-12	日本ベーリンガーIPF冊子	井上義一	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	井上義一. 解説 比較的稀な肺疾患 肺胞蛋白症. Respiratory Medical Research. 2016;4(2):59-63	Respiratory Medical Research	井上義一	臨床研究センター・部所属

項目 (英文原著論文、和文原著論文、 和文総説・著書)	論文全著者名、論題、雑誌名、発行年、巻、始頁-終頁	雑誌名 (再掲)	貴院著者名	所属 ・貴院の著者が臨床研究センター・臨床研究部に所属している場合には「臨床研究センター・部所属」を選択すること ・著者が複数名いる場合は、複数名のうち一名でも所属していれば「臨床研究センター・部所属」を選択すること
和文総説・著書(筆頭筆者)	井上義一,特発性肺線維症に期待される新規治療薬,THE LUNG perspectives. 2016;24(2):31-37	THE LUNG perspectives	井上義一	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者)	井上義一,Novel Anti-Fibrotic Strategy of IPF : Focusing to Pirfenidone,ILD symposium. 2016;47-90	ILD symposium	井上義一	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Taniguchi H, Xu Z, Azuma A, Inoue Y, Li H, Fujimoto T, Bailes Z, Schlenker-Herceg R, Kim DS. Subgroup analysis of Asian patients in the INPULSIS® trials of nintedanib in idiopathic pulmonary fibrosis,Respirology. 2016;21(8):1425-1430	Respirology	井上義一	臨床研究センター・部所属
和文原著論文(筆頭筆者)	井上義一,分類不能型特発性間質性肺炎:分類不能型間質性肺疾患を含めその意義と問題点,Respiratory Medicine 呼吸器内科 Vol.30 No.2. 2016;30(2):157-160	Respiratory Medicine 呼吸器内科 Vol.30 No.2	井上義一	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Mie Hayashida, Masanori Yasuo,Masayuki Hanaoka, Kuniaki Seyama,Yoshikazu Inoue,Koichiro Tatsumi,Michiaki Mishima, the Respiratory Failure Research Group of the Ministry of Health,Labour,and Welfare,Japan.Reductions in pulmonary function detected in patients with lymphangioleiomyomatosis:An analysis of the Japanese National Research Project on Intractable Diseases. database RESPIRATORY INVESTIGATION. 2016;54:193-200	RESPIRATORY INVESTIGATION	井上義一	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	吾妻安良太,小倉高志,井上義一,谷口博之. ニンテダニブの処方経験から見たこと,日経メディカル. 2016;21-24	日経メディカル	井上義一	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Yasuo Kohashi,Toru Arai,Chikatoshi Sugimoto,Kazunobu Tachibana,Masanori Akira,Masanori Kitaichi,Seiji Hayashi,Yoshikazu Inoue.Clinical Impact Emphysema Evaluated by High-Resolution Computed Tomography on Idiopathic Pulmonary Fibrosis Diagnosed by Surgical Lung Biopsy,Respiration. 2016;92-No.4:220-228	Respiration	新井徹,杉本親寿,橘和	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	井上義一,わが国における肺胞蛋白症の現状 難病対策、患者支援を含めて,日本胸部臨床. 2016;75:1217-1225	日本胸部臨床	井上義一	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	徳田均,宮崎泰成,井上義一,専門医でも見逃す鳥関連過敏性肺炎,日経メディカル. 2016;588:20-21	日経メディカル	井上義一	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	吾妻安良太,井上義一,小倉高志,谷口博之,IPF(特発性肺線維症)診療の実際 IPF(特発性肺線維症)診療の実際 抗線維化薬導入の副作用マネジメントと患者説明について. 2016	IPF(特発性肺線維症)診療の実際 抗線維化薬導入の副作用マネジメントと患者説明について	井上義一	臨床研究センター・部所属
和文原著論文(筆頭筆者)	井上義一,特発性肺線維症(IPF)患者に対するニンテダニブの長期投与:INPULSIS-ON試験の最新解析,ERS International Congress 2016. 2016;4-5	ERS International Congress 2016	井上義一	臨床研究センター・部所属
和文原著論文(筆頭筆者)	井上義一,英国胸部疾患学会特発性肺線維症登録研究(BTS IPF Registry)の初回解析:INPULSIS-ON試験の最新解析,ERS International Congress 2016. 2016;10	ERS International Congress 2016	井上義一	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Toru Arai,Tomoko Kagawa,Yumiko Sasaki,Reiko Sugawara,Chikatoshi Sugimoto,Kazunobu Tachibana,Masanori Kitaichi,Masanori Akira,Seiji Hayashi,Yoshikazu Inoue.Heterogeneity of incidence and outcome of acute exacerbation in idiopathic interstitial pneumonia,respirology. 2016;21:1431-1437	Respirology	新井徹,香川智子,佐々	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	井上義一,ランゲルハンス細胞組織球症,今日の治療指針 2017年版. 2017;59:319-320	今日の治療指針 2017年版	井上義一	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	井上義一,ランゲルハンス細胞組織球症,今日の治療指針 2017年版[ポケット版]. 2017;319-320	今日の治療指針 2017年版 [ポケット版]	井上義一	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	井上義一,分類不能型特発性間質性肺炎,特発性間質性肺炎診断と治療の手引き 改訂第3版. 2016;109-110	特発性間質性肺炎診断と治療の手引き 改訂第3版	井上義一	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者)	Toshinori Takada,Ayako Mikami,Nobutaka Kitamura,Kuniaki Seyama,Yoshikazu Inoue,Katsura Nagai,Masaru Suzuki, Hiroshi Moriyama,Keiichi Akasaka,Ryushi Tazawa,Toyohiro Hirai,Michiaki Mishima,Mie Hayashida,Masaki Hirose,Chikatoshi Sugimoto,Toru Arai,Noboru Hattori,Kentaro Watanabe,Tsutomu Tamada,Hirohisa Yoshizawa,Kohei Akazawa,Takahiro Tanaka,Keita Yogi,Lisa R. Yong,Francis X.McCormack,and Koh Nakata. Efficacy and Safety of Long-Term Sirolimus Therapy for Asian Patients with Lymphangioleiomyomatosis, Annals of the American Thoracic Society. 2016;13(11):1912-122	Annals of the American Thoracic Society	井上義一,広瀬雅樹,杉	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	井上義一,IPFの治療の目的と管理,特発性肺線維症の治療ガイドライン.2017;2017:42-45	特発性肺線維症の治療ガイドライン2017	井上義一	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	井上義一,MDDは間質性肺炎の適切な診断をするために必要である,週刊医学のあゆみ 間質性肺炎のMDD.2017;260(8):641-645	週刊医学のあゆみ 間質性肺炎のMDD	井上義一	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	井上義一,笠井孝彦,北市正則,間質性肺炎の組織像病理アトラス,別冊BIO CLINICA 慢性炎症と疾患 呼吸器疾患と慢性炎症.2017;6(1):1-4	別冊BIO CLINICA 慢性炎症と疾患 呼吸器疾患と慢性炎症	井上義一,笠井孝彦	臨床研究センター・部所属

項目 (英文原著論文、和文原著論文、 和文総説・著書)	論文全著者名、論題、雑誌名、発行年、巻、始頁-終頁	雑誌名 (再掲)	貴院著者名	所属 ・貴院の著者が臨床研究センター・臨床研究部に所属している場合には「臨床研究センター・部所属」を選択すること ・著者が複数名いる場合は、複数名のうち一名でも所属していれば「臨床研究センター・部所属」を選択すること
英文原著論文(筆頭筆者)	Minomo S, Tokoro A, Utsumi T, Ishihara M, Akira M, Atagi S. A case of long-term survival after multimodal local treatments of intramedullary spinal cord metastasis of squamous cell lung cancer. J Thorac Dis. 2016 Aug;8(8)	Journal of Thoracic Disease	養毛祥次郎, 所昭宏, 〇	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者)	Arai T, Kagawa T, Sasaki Y, Sugawara R, Sugimoto C, Tachibana K, Kiraichi M, Akira M, Hayashi S, Inoue Y (corresponding author). Heterogeneity of incidence and outcome of acute exacerbation in idiopathic interstitial pneumonia. Respirology 2016; 21: 1431-7	Respirology	新井徹、香川智子、佐	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	新井徹、特発性間質性肺炎。研修医が知っておくべき呼吸器疾患。レジデント2016年8月号、医学出版	レジデント2016年8月号、医学出版	新井徹	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	新井徹、間質性肺炎。酸素療法まるごとブック。呼吸器ケア2016年冬季増刊。メディカ出版	呼吸器ケア2016年冬季増刊。メディカ出版	新井徹	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者)	T. Kobayashi1, T. Arai2, M. Hirose2, T. Homma2, A. Matsumuro2, C. Sugimoto2, M. Kitaichi3,5, M. Akira4, Y. Inoue. Temporary remission of autoimmune pulmonary alveolar proteinosis after infectious episodes. in press	Sacroidsis vasculitis diffuse lung disease	小林岳彦, 新井徹, 広津	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者)	Kobayashi T, Tsuyuguchi K, Yoshida S, Kurahara Y, Tsuji T, Nakao K, Sasaki Y, Hayashi S, Inoue Y, Suzuki K. A case of Mycobacterium abscessus subsp. massiliense lung disease complicated by lipid pneumonia. Int J Tuberc Lung Dis. 2017 Jan 1;21(1):124-126.	International Journal of tuberculosis and lung disease	小林岳彦, 露口一成(〇)	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者)	Takehiko Kobayashi1, Masanori Kitaichi2,3,4, Kazunobu Tachibana1,2, Yutaro Kishimoto1,5, Yasushi Inoue1, Tomoko Kagawa1,2, Toshiya Maekura1, Chikatoshi Sugimoto2, Toru Arai2, Masanori Akira2,6, Yoshikazu Inoue2. Internal Medicine in press	internal medicine	小林岳彦, 橋和延, 井上	臨床研究センター・部所属
和文原著論文(筆頭筆者以外)	富田元久、吉田志緒美、木原実香、喀痰材料を対象とした抗酸菌用液体培養におけるアルカリ前処理の改良。日本臨床微生物学雑誌 2016; 26: 148-152.	日本臨床微生物学雑誌	吉田志緒美	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者)	Tsuiji T, Tsuyuguchi K, Tachibana K, Kimura Y, Kobayashi T, Minomo S, Atagi S, Matsumura A, Hayashi S and Suzuki K. Analysis of the impact of lung cancer treatment on nontuberculous mycobacterial lung diseases. Respir Investig (Respiratory Investigation Journal) 2017; 55(1): 45-50	Respir Investig (Respiratory Investigation Journal)	辻泰佑、露口一成、橋	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	露口一成：肺MAC症以外のNTM症の治療法と課題 化学療法の領域 2016; 32(8): 88-92	化学療法の領域	露口一成	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	露口一成：多剤耐性結核・超多剤耐性結核の診断・治療 -デラマニドの使い方を含めて 感染と抗菌薬 2017; 20(1): 46-51	感染と抗菌薬	露口一成	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	露口一成：精神科病棟・精神科病院の対策 結核感染対策スマートガイド p67-71、ヴァンメディカル 2017年3月1日発行	結核感染対策スマートガイド	露口一成	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者)	Masaji Okada (corresponding author), Yoko Kita, Satomi Hashimoto, Hitoshi Nakatani, Shiho Nishimatsu, Yumiko Kioka, Yasuko Takami. Preclinical study and clinical trial of a novel therapeutic vaccine against multi-drug resistant tuberculosis. 2017. Human Vaccine; Immunotherapeutics)	Human Vaccine (Human Vaccines & Immunotherapeutics)	岡田全司 (corresponding author)	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Kato T, Masuda N, Nakanishi Y, Takahashi M, Hida T, Sakai H, Atagi S, Fujita S, Tanaka H, Takeda K, Satouchi M, Namba Y, Tamura T. Nivolumab-induced interstitial lung disease analysis of two phase II studies patients with recurrent or advanced non-small-cell lung cancer. Lung Cancer 2017 Feb;104:111-118.	Lung Cancer	安宅 信二	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Tambo Y, Hosomi Y, Sakai H, Nogami N, Atagi S, Sasaki Y, Kato T, Takahashi T, Seto T, Maemondo M, Nokihara H, Koyama R, Nakagawa K, Kawaguchi T, Okamura Y, Nakamura O, Nishio M, Tamura T. Phase I/II study of docetaxel combined with resminostat, an oral hydroxamic acid HDAC inhibitor, for advanced non-small cell lung cancer in patients previously treated with platinum-based chemotherapy. J Clin Oncol 2017 Feb 14;35(6):629-633.	Investigational New Drugs	安宅 信二	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Tanaka F, Hasegawa S, Kondo N, Miyahara R, Date H, Atagi S, Kawahara M, Yamanaka T, Manabe T, Wada H. A Multicenter Feasibility Study of EBUS-TBNA for Potentially Operable Non-Small Cell Lung Cancer: The JMITO LC07-02 Study (UMIN000001280). Oncol Res Treat 2016;39(10):629-633.	Oncology Research and Treatment	安宅 信二	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Tamiya M, Tamiya A, Yasuo T, Nakao K, Omachi N, Shiroyama T, Tani E, Hamaguchi M, Morishita N, Suzuki H, Okamoto N, Okishio K, Kawaguchi T, Atagi S, Hirashima T. Vascular Endothelial Growth Factor in Plasma and Pleural Effusion Is a Biomarker for Outcome After Bevacizumab plus Carboplatin-Paclitaxel Treatment for Non-small Cell Lung Cancer with Malignant Pleural Effusion. Anticancer Research 2016 Aug;36(8):3495-505.	Anticancer Research	Tamiya M, Tamiya A, 〇	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者)	Atagi S, Goto K, Seto T, Yamamoto N, Tamura T, Tajima K, Inagaki N. Erlotinib for Japanese patients with activating EGFR mutation-positive non-small-cell lung cancer: combined analyses from two Phase II studies. Future Oncol. 2016 Sep;12(18):2117-26	Future Oncology	安宅 信二	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Takayama K, Katakami N, Yokoyama T, Atagi S, Yoshimori K, Kagamu H, Saito H, Takiguchi Y, Aoe K, Koyama A, Komura N, Eguchi K. Anamorelin (ONO-7643) in Japanese patients with non-small cell lung cancer and cachexia: results of a randomized phase 2 trial. Supportive Care Cancer 2016 Aug;24(8):3495-505.	Supportive Care in Cancer	安宅 信二	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Takayama K, Atagi S, Imamura F, Tanaka H, Minato K, Harada T, Katakami N, Yokoyama T, Yoshimori K, Takiguchi Y, Hataji O, Takeda Y, Aoe K, Kim YH, Yokota S, Tabeta H, Tomii K, Ohashi Y, Eguchi K, Watanabe K. Quality of life and survival survey of cancer cachexia in advanced non-small cell lung cancer patients—Japan nutrition and QOL survey in patients with advanced non-small cell lung cancer.	Supportive Care in Cancer	安宅 信二	臨床研究センター・部所属

項目 (英文原著論文、和文原著論文、 和文総説・著書)	論文全著者名、論題、雑誌名、発行年、巻、始頁-終頁	雑誌名 (再掲)	貴院著者名	所属 ・貴院の著者が臨床研究センター・臨床研究部に所属している場合には「臨床研究センター・部所属」を選択すること ・著者が複数名いる場合は、複数名のうち一名でも所属していれば「臨床研究センター・部所属」を選択すること
和文総説・著書(筆頭筆者)	高齢者肺がん治療の実際 大江 裕一郎 著者 安宅 信二 執筆 2016年6月20日初版 高齢者Ⅲ期非小細胞肺癌に対する化学放射線治療(安宅信二)	医業ジャーナル社	安宅 信二	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Predictors of responses to corticosteroids for anorexia in advanced cancer patients: a multicenter prospective observational study. Matsuo N, Morita T, Matsuda Y, Okamoto K, Matsumoto Y, Kaneishi K, Odagiri T, Sakurai H, Katayama H, Mori I, Yamada H, Watanabe H, Yokoyama T, Yamaguchi T, Nishi T, Shirado A, Hiramoto S, Watanabe T, Kohara H, Shimoyama S, Aruga E, Baba M, Sumita K, Iwase S.	Support Care Cancer	松田 能宣	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Treatment Recommendations for Respiratory Symptoms in Cancer Patients: Clinical Guidelines from the Japanese Society for Palliative Medicine. Yamaguchi T, Goya S, Kohara H, Watanabe H, Mori M, Matsuda Y, Nakamura Y, Sakashita A, Nishi T, Tanaka K.	JOURNAL OF PALLIATIVE MEDICINE	松田 能宣	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Predictors of Responses to Corticosteroids for Cancer-Related Fatigue in Advanced Cancer Patients: A Multicenter, Prospective, Observational Study. Matsuo N, Morita T, Matsuda Y, Okamoto K, Matsumoto Y, Kaneishi K, Odagiri T, Sakurai H, Katayama H, Mori I, Yamada H, Watanabe H, Yokoyama T, Yamaguchi T, Nishi T, Shirado A, Hiramoto S, Watanabe T, Kohara H, Shimoyama S, Aruga E, Baba M, Sumita K, Iwase S.	J Pain Symptom Manage (Journal of Pain and Symptom Management)	松田 能宣	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Clinical Implications of C-Reactive Protein as a Prognostic Marker in Advanced Cancer Patients in Palliative Care Settings. Amano K, Maeda I, Morita T, Miura T, Inoue S, Ikenaga M, Matsumoto Y, Baba M, Sekine R, Yamaguchi T, Hirohashi T, Tajima T, Tataru R, Watanabe H, Otani H, Takigawa C, Matsuda Y.	J Pain Symptom Manage (Journal of Pain and Symptom Management)	松田 能宣	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	監修 森田達也 木澤義之 編集 西智弘 松本禎久 森雅紀 山口崇 (2016年). 緩和ケアレジデントマニュアル, 医学書院. 松田能宣 第2章 16. 呼吸困難 p177-184	医学書院	松田 能宣	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	監修 森田達也 木澤義之 編集 西智弘 松本禎久 森雅紀 山口崇 (2016年). 緩和ケアレジデントマニュアル, 医学書院. 松田能宣 第4章 6. 慢性呼吸器疾患の緩和ケア p341-345	医学書院	松田 能宣	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	編集 日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン委員会(2016年). がん患者の呼吸器症状の緩和に関するガイドライン. 金原出版株式会社. 松田能宣 II章3.呼吸困難の原因 p23,24. 4.呼吸困難の評価 p25-30. 6.酸素療法 p36-39. III章2. 呼吸困難に対する薬物療法③ベンゾジアゼピン系薬 p75-78	金原出版株式会社	松田 能宣	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	松田能宣 FAST FACT(第11回)「死にたいと言われた時の対応 緩和ケア(1349-7138)26巻5号 Page366(2016.09)	FAST FACT	松田 能宣	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	編著 北和也(2016年). 今日から取り組む実践さよならポリファーマシー. じほう. 松田能宣 6章 処方整理・deprescribingのエッセンス 精神疾患・心因性疾患の処方整理	じほう	松田 能宣	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	A prospective, multicenter cohort study to validate a simple performance status-based survival prediction system for oncologists. Yamada T, Morita T, Maeda I, Inoue S, Ikenaga M, Matsumoto Y, Baba M, Sekine R, Yamaguchi T, Hirohashi T, Tajima T, Tataru R, Watanabe H, Otani H, Takigawa C, Matsuda Y, Ono S, Ozawa T, Yamamoto R, Shishido H, Yamamoto N. Cancer. 2016 Dec 7. doi: 10.1002/cncr.30484. [Epub ahead of print]	Cancer	松田 能宣	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	松田能宣【ひとつ上を行くがんの症状緩和 実践的ノウハウ】がん患者の呼吸器症状のマネジメント 呼吸困難の治療(解説/特集)薬事 (0016-5980)59巻3号 Page487-490(2017.02)	呼吸困難の治療(解説/特集)薬事	松田 能宣	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	松田能宣【緩和医療学】呼吸困難 心身医学 (0385-0307)57巻2号 Page138-143(2017.02)	心身医学	松田 能宣	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Matsuo N, Morita T, Matsuda Y, Okamoto K, Matsumoto Y, Kaneishi K, Odagiri T, Sakurai H, Katayama H, Mori I, Yamada H, Watanabe H, Yokoyama T, Yamaguchi T, Nishi T, Shirado A, Hiramoto S, Watanabe T, Kohara H, Shimoyama S, Aruga E, Baba M, Sumita K, Iwase S. Predictors of responses to corticosteroids for anorexia in advanced cancer patients: a multicenter prospective observational study. Support Care Cancer. 2017; Jan;25(1):41-50. Epub	Support Care Cancer	松田 能宣	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者)	片山加奈子, 和田幹生, 川島篤志, 小牧稔之, 香川恵造. 京都医学会雑誌 63(1): 3-8 2016	京都医学会雑誌	片山 加奈子	
英文原著論文(筆頭筆者)	Katayama K, Tamiya A, Kobayashi T, Fukuda S, Atagi S (2017) An Abscopal Response to Radiation Therapy in a Patient with Metastatic Non-Small Cell Lung Cancer: A Case Report. J Cancer Sci Ther in a Patient with Metastatic Non-Small Cell Lung Cancer: A Case Report. J Cancer Sci Ther 9: 363-365.	J Cancer Sci Ther (Journal of Cancer Science and Therapy)	片山加奈子, 田宮朗裕	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者)	Akira M, Inoue Y, Arai T, Sugimoto C, Tokura S, Nakata K, Kitaichi M; the Osaka Respiratory Diseases Symposia Group. Pulmonary fibrosis on high-resolution CT of patients with pulmonary alveolar proteinosis. AJR 2016; 207:544-551.	AJR (American Journal of Roentgenology)	審良正則, 井上義一	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Ishikawa H, Hara M, Ryuge M, Takafuji J, Youmoto M, Akira M, Nagasaka Y, Kabata D, Yamamoto K, Shintani A. Efficacy and safety of super selective bronchial artery coil embolisation for haemoptysis: a single-centre retrospective observational study. BMJ Open 2017; 7(2): e014805.	BMJ Open	審良正則	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Morimoto M, Okishio K, Akira M, Omachi N, Tamiya A, Asami K, Kawaguchi T, Atagi S. Duration of twice-daily thoracic radiotherapy and time from the start of any treatment to the end of chest irradiation as significant predictors of outcomes in limited-disease small-cell lung cancer. Clin Lung Cancer 2017; 18(2):e117-e127.	Clinical Lung Cancer	沖塩協一, 審良正則	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Yoon HE, Shimizu S, Tokura S, Okuma T, Kawaguchi T, Ito I, Akira M, Eimoto T, Kasai T, Matsumura A. Primary high-grade myxofibrosarcoma in the anterior mediastinum: A case report and review of the literature. Cancer Treatment and Research Communications 2016: 9:44-47.	Cancer Treatment and Research Communications	社倉紗代子, 審良正則	臨床研究センター・部所属

項目 (英文原著論文、和文原著論文、 和文総説・著書)	論文全著者名、論題、雑誌名、発行年、巻、始頁-終頁	雑誌名 (再掲)	貴院著者名	所属 ・貴院の著者が臨床研究センター・臨床研究部に所属している場合には「臨床研究センター・部所属」を選択すること ・著者が複数名いる場合は、複数名のうち一名でも所属していれば「臨床研究センター・部所属」を選択すること
英文原著論文(筆頭筆者)	Akira M. Radiographic differentiation of advanced fibrocystic lung diseases. Ann Am Thorac Soc 2017; 14(3):432-440.	Ann Am Thorac Soc	審良 正則	臨床研究センター・部所属
和文総説・著書(筆頭筆者)	審良 正則: 肺胞蛋白症の画像診断と鑑別すべき疾患. 日本胸部臨床75(11):1236-1244, 2016	日本胸部臨床	審良 正則	臨床研究センター・部所属
和文原著論文(筆頭筆者)	前倉 俊也、露口 一成、木村 洋平、木庭 太郎、園延 尚子、辻 泰佑、松村 晃秀、林 清二、鈴木 克洋、当院にて経験した気管支管支結核29症例の臨床的検討・結核、2016、91(7)、579-583	結核	前倉 俊也、露口 一成	臨床研究センター・部所属
和文原著論文(筆頭筆者以外)	松井 浩史、伊 亨彦、内海 朝喜、富田 栄美子、北市 正則、松村 晃秀、左主気管支管状切除・端々吻合を行った唾液腺型肺癌の2例・日呼外会誌2016、30(4)、437-442	日呼外会誌	伊 亨彦、内海 朝喜、松村 晃秀	
和文原著論文(筆頭筆者以外)	金沢 豪、伊 亨彦、内海 朝喜、富田 栄美子、松井 浩史、松村 晃秀、非結核性抗酸菌症(Mycobacterium avium)による有癆性膿胸に対して外科的・内科的アプローチにて治療した1例・日呼外会誌、201630(4)、467-471	日呼外会誌	伊 亨彦、内海 朝喜、松村 晃秀	
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Taniguchi C, Tanaka H, Saka H, Oze I, Tachibana K, Nozaki Y, Suzuki Y, Sakakibara H Cognitive, behavioural and psychosocial factors associated with successful and maintained quit smoking status among patients who received smoking cessation intervention with nurses' counselling. 2017, Jan 19. doi: 10.1111/ian.13258. [Epub ahead of print]	J ADV NURS (JOURNAL OF ADVANCED NURSING)	橋 和延	臨床研究センター・部所属
和文原著論文(筆頭筆者以外)	矢羽田一信、南雲サチ子、矢野恵子、竹中明美、吉村英雄、田路英作、三村明弘、寺本友昭、芦村純一、植田政嗣 大阪における細胞検査士のための継続的精度改善活動の計画 日本臨床細胞学会雑誌 2017;(56):15-20	日本臨床細胞学会雑誌	寺本友昭	
英文原著論文(筆頭筆者)	Takeda M(corresponding author), Kasai T, Shimizu S, Kitaichi M, Kojima K, Nagoya A, Hayashi A, Utsumi T, Yoon HE, Matsumura A, Atagi S. Assessment of ALK gene rearrangement in lung cancer using a new rapid automated SureFISH (Dako Omnis) assay. J Clin Pathol. doi: 10.1136/jclinpath-2016-204311. [Epub ahead of print]	JOURNAL OF CLINICAL PATHOLOGY	武田麻衣子 (corresponding author)	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Shimizu S, Yoon HE, Ito N, Tsuji T, Funakoshi Y, Utsumi T, Sakaguchi M, Tsujimura T, Kasai T, Hiroshima K, Matsumura A. A Case of Solitary Well-Differentiated Papillary Mesothelioma with Invasive Foci in the Pleura. Pathol Int. 2017 Jan;67(1):45-49.	PATHOLOGY INTERNATIONAL	伊 亨彦、辻 泰佑、内海 朝喜	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Shimizu S, Inoue Y, Utsumi T, Okuma T, Kawaguchi T, Kasai T, Munakata S, Shibano M, Atagi S. Primary Marginal Zone Lymphoma in the Posterior Mediastinum with Pleural Involvement. Intern Med. 2016;55(18):2673-7.	Intern Med. (Internal Medicine)	井上康、内海朝喜、笠井孝彦	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Sho M, Hatakeyama K, Obara S, Kunishige T, Takano M, Kasai T, Ohbayashi C, Nakajima Y. Pseudosarcomatous myofibroblastic proliferation of the gallbladder mimicking early carcinoma. Pathol Int. 2016 Aug;66(8):478-80	PATHOLOGY INTERNATIONAL	笠井孝彦	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Fujisaki A, Aoki T, Kasai T, Kinoshita S, Tomoda Y, Tanaka F, Yatera K, Mukae H, Korogi Y. Pleomorphic Carcinoma of the Lung: Relationship Between CT Findings and Prognosis. AJR Am J Roentgenol. 2016;207(2):289-94.	AJR (American Journal of Roentgenology)	笠井孝彦	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者)	Takeda M, Nakamine H, Hatakeyama K, Nakai T, Takano M, Itami H, Uchiyama T, Okamoto H, Hasegawa A, Amano I, Ohbayashi C. Histopathology. 2017 Feb 6. doi: 10.1111/his.13182. [Epub ahead of print]	HISTOPATHOLOGY	武田麻衣子 (corresponding author)	臨床研究センター・部所属
和文原著論文(筆頭筆者以外)	北市正則、笠井孝彦、寺本友昭、高木理博. [肺胞蛋白症をめぐる最近の話題]肺胞蛋白症の病理所見(解説/特集) 日本胸部臨床 2016;75(11):1245-1253	日本胸部臨床	笠井孝彦、寺本友昭	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Takano M, Shimada K, Fujii T, Morita K, Takeda M, Nakajima Y, Nononura A, Konishi N, Ohbayashi C. Keratin 19 as a key molecule in progression of human hepatocellular carcinomas through invasion and angiogenesis. BMC Cancer. 2016;16(1):903.	BMC Cancer	武田麻衣子	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Uchiyama T, Takeda M, Morita K, Nakai T, Takano M, Hatakeyama K, Takahama J, Ito F, Kobayashi H, Ohbayashi C. Uterine carcinosarcoma including angiosarcoma: A short case report. Pathol Int. 2016;66(10):598-599.	PATHOLOGY INTERNATIONAL	武田麻衣子	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Uchiyama T, Nakamine H, Morita K, Itami H, Nakai T, Takano M, Takeda M, Hatakeyama K, Takahama J, Tanase Y, Kobayashi H, Ohbayashi C. Intravascular Large B-Cell Lymphoma Coexisting with an Ovarian Carcinoma. J Clin Exp Hematop. 2016;56(1):59-63.	J Clin Exp Hematop. (Journal of Clinical and Experimental Hematopathology)	武田麻衣子	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Fujimura T, Fujimoto T, Itaya-Hironaka A, Miyaoka T, Yoshimoto K, Sakuramoto T, Ito S, Yamauchi A, Takeda M, Tsujinaka H, Tanaka Y, Takasawa S. Significance of Interleukin-6/STAT Pathway for the Gene Expression of REG Iα, a New Autoantigen in Sjogren's Syndrome Patients, in Salivary Duct Epithelial Cells. Clin Rev Allergy Immunol. 2016 Jun 24. [Epub ahead of print]	Clin Rev Allergy Immunol. (Clinical Reviews in Allergy & Immunology)	武田麻衣子	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Nakai T, Ichihara S, Kada A, Ito N, Moritani S, Kawasaki T, Uchiyama T, Itami H, Morita K, Takano M, Takeda M, Hatakeyama K, Ohbayashi C. The unique luminal staining pattern of cytokeratin 5/6 in adenoid cystic carcinoma of the breast may aid in differentiating it from its mimickers. Virchows Arch. 2016;469(2):213-22.	VIRCHOWS ARCHIV	武田麻衣子	臨床研究センター・部所属
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Kawaguchi T, Koh Y, Ando M, Ito N, Takeo S, Adachi H, Tagawa T, Kakegawa S, Yamashita M, Katanka K, Ichinose Y	Journal of Clinical Oncology	伊佐俊介、松村晃秀	臨床研究センター・部所属

<p>項目</p> <p>(英文原著論文、和文原著論文、 和文総説・著書)</p>	<p>論文全著者名. 論題. 雑誌名. 発行年. 巻 :始頁-終頁</p>	<p>雑誌名 (再掲)</p>	<p>貴院著者名</p>	<p>所属</p> <p>・貴院の著者が臨床研究センター・臨床研究部に所属している場合には「臨床研究センター・部所属」を選択すること ・著者が複数名いる場合は、複数名のうち一名でも所属していれば「臨床研究センター・部所属」を選択すること</p>
<p>英文原著論文(筆頭筆者以外)</p>	<p>Tanimukai H,Tsujimoto H,Matsuda Y,Tokoro A,Kanemura S,Watanabe M,Tsujio I,Maeda I,Takeshi K,Nakajima S,Taira T,Tokuyama M,Kai T,Goya S,Kashiwagi Y The american journal of hospice &amp;Pallia 33巻 456-462</p>	<p>The american journal of hospice &amp;Pallia (American Journal of Hospice &amp; Palliative Medicine)</p>	<p>所昭宏、松田能宣</p>	<p>臨床研究センター・部所属</p>